

インターナショナルサイエンスキャンプIN岡山 サイエンスゼミ

2015年8月31日 発行

日 程:平成27年8月4日(火), 5日(水)

場 所:岡山理科大学、岡山大学

参加者:本校生徒12名、教員10名、タイ研修団19名(生徒12名 引率7名)

目 的:共同研究を通して、意欲や態度、及び国際的な視野や感覚を養う。また、科学の学びは、世界共通であることを体験し、国際性を深める。

実習内容

2015サイエンスゼミのグループ分け 2015年8月4日9:00~8月5日18:00

班	テーマ	教 師	タイ研修団		タイ生徒	本校生徒	TA
			SSD教員	英訳科教員			
1	電子ホタルを作る	クルモフ教授(理大)	寒川	佐藤	3名	2名	0
2	放射線	豊田新教授(理大)	石山	西野	3名	2名	0
3	情報処理	柳貴久男准教授(理大)	工藤	松浦	2名	3名	0
4	水生生物について	武山智博准教授(理大)	宮内	岡野	2名	3名	1
5	ホテイアオイによる水質浄化作用	沖野子教授・中嶋佳貴助教(岡大)	高橋	木村容	2名	2名+科 予備生徒	2

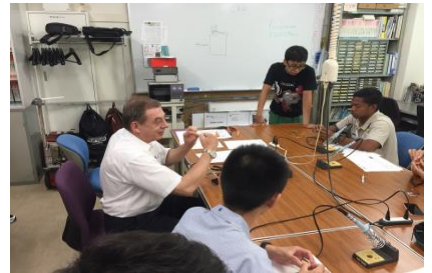


写真1 「電子ホタル」



写真4 「水生生物」



写真5 「ホテイアオイ」



写真2 「放射線」

上表のように5班に分かれて各テーマに沿って研究を行う。

1日目、2日目正午まで各班ごとに実験、観察、データをまとめる。

2日目の午後2時間で英語でのプレゼン発表に向けて準備する。

2日目15時30分より英語でのプレゼン発表会を実施する。



写真3 「情報処理」



アンケート質問	タイの高校生			本校生徒		
	事前	事後	変化量	事前	事後	変化量
1 国際交流の重要性	4.5	4.7	0.3	4.8	4.7	-0.1
2 外国語学習への意欲	4.1	4.8	0.7	4.7	4.7	0.0
3 科学の学習への意欲	4.0	4.6	0.6	4.5	4.4	-0.1
4 自分に対する自信	4.0	4.4	0.4	3.5	3.7	0.3
5 活動による充実感	4.4	4.6	0.3	4.1	4.5	0.4
6 科学や研究者への視野の広がり	3.9	4.5	0.5	4.2	4.5	0.3
全体	4.1	4.6	0.5	4.3	4.4	0.1

- 短時間での作業でなかなか作業が十分にできなかった。英語でのプレゼン発表が難しかった
- 左表の1, 3の本校生徒の変化量が思わしくない。